



DI ニュース

No. 6
2021. 2. 28 発行
未来の風せいわ病院
医薬品情報管理室
(臨床薬剤科)

目次

クレアチンクリアランス (Ccr) についてのお知らせ	
①クレアチンクリアランスとは	1
②クレアチンクリアランスの参照方法	1
③腎排泄型の薬の処方について	3

クレアチンクリアランス (Ccr) についてのお知らせ

今年度、臨床薬剤科の薬剤師は 18 歳以上の入院患者さんの腎機能を推定するためにクレアチンクリアランス (Ccr) を推算してきましたが、その結果をカルテ記載しており閲覧可能ですのでお知らせいたします。

①クレアチンクリアランスとは

慢性腎臓病や高齢者など腎機能が低下している患者さんでは、常用量であっても過剰投与となり副作用を起こす可能性があります。したがって、腎機能を把握する必要がありますが、当院でも血液検査でよく行われている血清クレアチニン値 (Scr) や血中尿素窒素 (BUN) だけでは把握しきれないことがあります。クレアチニン (Cr) 産生量は筋肉量に依存するため、ADL が低下している高齢患者や筋肉量の少ない女性では、腎機能が低下してもそれほど Cr が血液中に蓄積せず、Scr は基準値の範囲内に留まる場合があります、見落とされることもあります。これらの問題点に対し、クレアチンクリアランス (Ccr) により腎機能を推定する方法があります。

この点に着目し、臨床薬剤科ではステップアップチャレンジ 2020 にエントリーし受賞させていただきました。

②クレアチンクリアランスの参照方法

以下の手順でクレアチンクリアランス (Ccr) 値を閲覧することができます。
参考までに、ステップアップチャレンジ 2020 では、腎機能をこのように区分し介入をしました。

正常 (Ccr ≥ 60)	軽度低下 (45 ≤ Ccr < 60)	中等度低下 (30 ≤ Ccr < 45)
高度低下 (15 ≤ Ccr < 30)	末期腎不全 (Ccr < 15)	

(1)

The screenshot shows the Alpha medical system interface. The top navigation bar includes '服薬指導' (Medication Guidance), which is highlighted. A dropdown menu is open, showing various options, with '服薬指導' (Medication Guidance) selected and highlighted in red. A yellow callout box on the right contains the text: 「服薬指導」を選択する (Select 'Medication Guidance').

(2)

The screenshot shows the Alpha medical system interface. The top navigation bar includes '服薬指導' (Medication Guidance), which is highlighted. A dropdown menu is open, showing various options, with '服薬指導' (Medication Guidance) selected and highlighted in red. A yellow callout box on the right contains the text: 「クレアチニンクリアランス」を探す (Find 'Creatinine Clearance'), 日付は採血をした日 (Date is the date of blood collection), and 単位は mL/分 (Unit is mL/min). A red arrow points to the '血清クレアチニン値' (Serum Creatinine Value) field in the patient record.

検査日	検査結果	単位
2020/12/26(土)	血清クレアチニン値 0.56 mg/dL	
2020/11/26(木)	血清クレアチニン値 0.55 mg/dL	*クレアチニンクリアランス
2020/10/22(木)	血清クレアチニン値 0.56 mg/dL	*クレアチニンクリアランス

③腎排泄型の薬の処方について

ステップアップチャレンジ2020で臨床薬剤科の薬剤師が介入した24件中22件が腎排泄型の薬でした。

薬品名	件数
酸化マグネシウム	6
リーマス	3
ザイザル	3
ゼプリオン	2
インヴェガ	1
チアプリド	1

薬品名	件数
セチロ配合錠（酸化マグネシウム含有）	1
メトグルコ	1
ネシーナ	1
クラビット（レボフロキサシ）	1
リリカ	1
ベポタスチン	1

ゼプリオンはLAI(持効性注射薬)なので腎機能障害による影響も長く持続するので、より注意が必要です。酸化マグネシウムとその配合剤については、血清マグネシウムの測定が一助になります。

以前はメマリー（メマンチン）に対して介入することが多かったのですが、それに関しては広く周知されてきているのかもしれませんが、引き続き、腎機能に応じた用量調整などが必要です。

腎排泄型の薬を処方する際には、これらも参考にしていただけましたら幸いです。ご不明な点などあれば、遠慮なく薬剤師にお尋ねください。